

## 経営大学院 Q & A

### 経営大学院について、教えてください。

信州大学は、2003年4月に**社会科学系と理工系の本格的な連携**の具体的な実践のモデルとして全国に先駆けて、社会人を対象とする**大学院イノベーション・マネジメント専攻（経営大学院）**を開設し、日本全国から大学院生を迎え入れました。

経営大学院は、先端技術と市場の動向に関する深い理解を併せて持ち、組織改革を達成できる人材の養成を狙っています。既存の欄を乗り越え、新たなビジネスモデルを構築することをイノベーションというのならば、イノベーションを達成するためには、「**組織の壁**」「**市場の壁**」「**技術の壁**」の3つの壁を乗り越えることが必要です。

この3つの壁の根底には、既存概念を乗り越えられない、乗り越えようとしていない、私たちの「意識の壁」があります。本大学院には、20代から60代までの幅広い年代に渡る、様々なキャリアを持つ大学院生が、各々の抱える「壁」を乗り越えるべく、日々、研鑽に励んでおります。社会人大大学院生は、企業あるいは行政機関で働き、組織が直面する問題を解決しようとする者、あるいは創業を目指す者であり、経営大学院の研究教育は、机上の空論ではなく、常に実務の最前線を意識したものとなっています。

本大学院は、これまで日本の大学界に新たな風を吹き込んできた信州大学が21世紀の新しい大学像を社会に提案するイノベーションそのものです。自らのエンプロイアビリティを高めると同時に、信州から世界に新しい風を吹き込もうという志をお持ちの方を、本大学院ではお待ちしております。

### 社会人大大学院について、教えてください。

社会人大大学院とは、一般に勤務したり起業したりしている社会人を対象とする大学院のことです。「信州大学経営大学院」は、修士課程で、2年間で所定の単位取得と審査を経て、**マネジメント修士の学位**が授与されます。意思さえあれば、働きながら学ぶことは可能です。**社会人院生が勤務を続けながら通学して、授業単位の修得が可能**です。

通常の授業は、**平日（火曜から金曜）夜間（18:00～21:10）と土曜日昼間（10:40～17:50）**に開講します。また、日曜祭日や夏休み期間を利用した集中講義なども開講されます。

もちろん、働きながら学ぶことは、簡単なことではありません。在学生は、職場や家庭などの理解と協力を得て、時間をやり繰りしながら通学しています。授業は毎回、遅刻せず出席するのが望ましいことは言うまでもありませんが、仕事などの都合で、時には遅刻したり、欠席したりせざるを得ない時もあります。その場合でも、ケース討議のように出席者同士のディスカッションによって進められる科目もありますが、多くの授業で、講義要録をウェブ上で院生に提供するなどの「e-Learning」が可能となっており、欠席しても授業内容をフォローすることができます。

更に授業日以外に教員のオフィスアワーが設けられており、授業内容や、各々の抱える課題研究などの質問をすることもできます。